「多くの思いやりで今がある」

聖火ランナー 彦根出身・松居礼大(あやひろ)さん

事故で右腕に障害 24年パリ目指す

交通事故で右腕に障害を負い、2024年のパリ・パラリンピックにパラトライアスロンで出場を目指す会社員、松居礼大(あやひろ)さん(30)=名古屋市熱田区=が、来年の東京五輪の聖火ランナーに選ばれた。「人に助けてもらった人生。恩返しになれば」との感謝を胸に、出身地の滋賀県を走る。

彦根市で生まれた。中学は卓球部の部長を務め、高校はバンド活動でギターに打ち込んだ。広島県の大学に進学した07年、原付きバイクで通学中に事故にあった。全身を打ち、右の肩甲骨や頸椎(けいつい)、右足などを骨折、肺も損傷した。事故の記憶はなく、右腕が動かなくなっていた。

「大学? 就職? 無理だろう」「どう生きていったらいいのか」。不安な日々を支えたのは、滋賀から駆けつけて3カ月間ビジネスホテルに連泊し、看病してくれた母だった。「代われるなら、代わってあげたい」という言葉が心に響いた。「苦しい時間が、幸せな大切な時間でもあった」

病室を訪れた音楽教室の先生は「できなくなったことはあるけれど、その分、大きなものを手に入れるよ」と声をかけてくれた。建築を学ぶ大学の教授は「ゼミに来てくれれば、責任を持って受け入れます」と言ってくれた。

8カ月後に退院し、大学に戻った。右の肩から下の機能は失われ、まったく動かない。何か新しく得たものがあるとはいえないけれど、人が人を思いやる気持ちをかみしめられる人生になった気がする。

大学卒業後はハウスメーカーに就職し、体調管理のためにとスポーツジムでランニングを始めた。1年余りたったころ、同僚に誘われて初出場したハーフマラソンの大会で1時間43分を記録。だが20歳年上の同僚に負けた。悔しさで走ることに夢中になるなか、インターネットでパラトライアスロンを知った。

18年1月に自転車を買って本格的にパラトライアスロンのトレーニングを始めた。今年6月には日本代表の1人としてアジア大会に出場。東京大会の先のパリ大会出場をめざして、聖火をつなぐ。「たくさんの思いやりをもらって今の自分がある。家族や友人、恩人に、夢に向かう姿を見てほしい」

(荻原千明)

トライアスロンの大会で力走する松居礼大さん=9月、岐阜県海津市、本人提供

10年連続過去最高

6月時点 民間の障害者雇用数

滋賀労働局は、県内に本社がある企業で6月時点に雇用されていた障害者数が10年連続で、過去最高を記録したと発表した。法定雇用率を満たす企業の割合も前年から伸び、全国平均を大きく上回った。一方で行政の県と8市町は基準を下回っていた。

県内の民間企業884社(従業員45・5人以上)に雇用されている障害者数は3210・5人で前年より2・6%増。雇用率は2・28%で、法定雇用率(2・2%)を達成した割合は55・7%だった。前年から0・9ポイントの上昇で全国平均の48%を大きく上回った。

雇用されている障害者の内訳は、身体障害者1720人(前年比1・3%減)、知的障害者1033人(同5・1%増)、精神障害者457・5人(同13・5%増)だった。

企業規模別の雇用率は従業員1千人以上が2・67%(同0・12ポイント増)、500~1千人未満が2・17%(同0・09ポイント増)、100~300人未満が2・35%(同0・17ポイント増)などと上昇した。ただ100人未満の企業は2・12%で前年より0・17ポイント下がった。

884社の産業別の雇用率は医療、福祉が3・68%で最も高く、宿泊業、飲食サービス業2・36%、運輸業、郵便業2・24%と続いた。最も低かったのは不動産業、物品賃貸業の0・91%で計14社で10人だけだった。

一方、法定雇用率が2・5%となっている県や市町は基準以下が目立った。県は2・39%で前年から0・17ポイント減少。大津市は1・63%、高島市2・14%、米原市1・68%、愛荘町1・55%などで全19市町のうち8市町が基準に達しなかった。

滋賀労働局の担当者は「民間に率先して雇用を拡大するため、公的機関の法定雇用率を高くしている。県や市町の積極的な取り組みを期待したい」と話す。

(山中由睦)

再犯防止「家族にも支援を」

NPOが大阪でシンポ

シンポジウムで加害者家族支援について語る佐藤仁孝理事長(左から2番目)=大阪市中央区

犯罪加害者の更生支援や加害者家族のケアに取り組むNPO法人「スキマサポートセンター」(大阪市)が22日、大阪市中央区で「再犯防止のために加害者家族と何ができるか」と題したシンポジウムを開いた。支援団体の関係者や弁護士らが、加害者とその家族が孤立しがちな現状と支援のあり方を議論した。

シンポでは同センターの佐藤仁孝理事長が、家族が犯罪をすると「他の家族も同罪」と見られてしまうと指摘。センターの無料電話相談ホットライン(070・5650・9473)では、加害者家族から「誰にも言えない」「死にたい」と悩みを打ち明けられるほか、勾留中の面会や裁判手続きの質問も多いなど、加害者とその家族が孤立する現状を紹介した。

同センターに所属して法的助言を行う藤田祐介弁護士(滋賀弁護士会)は「刑事弁護は判決まで。その後の生活にはなかなか関われない」などとし、再犯防止のためにも加害者とその家族の支援に継続的に関与する必要性を訴えた。

加害者家族支援に取り組んできた仙台市のNPO法人「ワールド・オープン・ハート」(2008年設立)の阿部恭子理事長は「裁判所は家族信仰が強い。(裁判で情状酌量による減刑を求める)情状証人も『(被告の今後の生活を)家族が監督します』という。日本社会が色んな問題を家族に押しつけてきた」と指摘し、地域社会の支援の可能性を探ることを提案した。

佐藤理事長は「しのないようにしたい。再犯を生まないための課題だ」と

現職の藤沢氏 立候補を表明

日野町長選

来年7月10日に任期満了となる日野町長選で、現職の藤沢直広町長(63)が5期目を目指して無所属で立候補することを表明した。同町長選への態度を明らかにしたのは、藤沢町長が初めて。

藤沢町長は25日の12月定例町議会の閉会あいさつで「さらに元気で温かいまちづくりを進めたい」と述べた。赤字が続いて自力運営が難しくなり、存廃が焦点になっている近江鉄道については「通学や通勤などに大切な公共輸送機関。存続の合意と財源支援の拡充に取り組みたい」と意欲を語った。

藤沢町長は県職員を経て2004年7月の町長選で初当選した。

(阿部治樹)

用地取得案否決に 予定地住民が抗議

高島市ごみ処理施設巡り

高島市の新ごみ処理施設の用地取得案が市議会で否決されたことを受け、建設予定地の朽木宮前坊区と地区の対策委員会が26日、広本昌久議長に抗議文を提出し、地元住民への説明会の開催などを求めた。広本議長は「議員に説明し、できる限り要望に応えていきたい」とした。

市は昨年12月、朽木宮前坊地区の約4・4ヘクタールを建設予定地として決定。地権者と土地売買の仮契約を結び、この12月議会に用地取得の議案を提出した。だが市議会は、大雨の際に水害リスクが高く安全対策の説明も不十分などとして反対日の本会議で反対多数で否決した。

炭本輝夫区長は議文で、市の「区の将来のため

大いけばな 迎春準備整う 彦根城

国宝・彦根城(彦根市)の表門に26日、新春の大いけばながいけられ、ひこにゃんも手伝った。城内の天秤櫓(てんびんやぐら)や天守

ネート。アンスリウムやアマリリスの赤い花があしらわれ、華やかさを演出している。また五つの輪を組み合わ

滋賀

フィルム販売・フィルムプリント・デジタルプリント
三條サクラヤ
河原町通蛸薬師東側
三條サクラヤビル6F
☎(221)0721(代)

大津総局
〒520-0044
大津市京町3丁目5-12
☎ 077(524)6601
fax (523)1156
メール:ootsu@asahi.com
彦根支局
☎ 0749(22)0470
長浜支局
☎ 0749(62)0122
近江八幡支局
☎ 0748(33)2208
今津支局
☎ 0740(22)2139

購読のお申し込み
配達お問い合わせ
0120-33-0843
(7:00~21:00)

購読・配達のご用は
大 津 077(524)5310
草 津 077(562)0034
八日市 0748(22)0172
彦 根 0749(24)2561
長 浜 0749(62)0302
高 島 0740(32)1183
広告(土日祝除く)
大 津 077(510)2002
折り込み(日祝除く)
栗 東 077(551)3921

あすの暦
12月28日
(旧12月3日)
日 出 7.03
日 入 16.52
マイナス22

びわ湖の

京都

令和二年
子年

ありきたり
飽き足らな
「ほんまも

子どもの成績がアップする
経験豊富なプロ家庭教師
だから実現が可能です

キッチン・バス
トイレの